



EBSニュースメール2号

「欧州環境インサイト」ニュースメール2号お送り申し上げます。皆様のビジネスにとって、何らかのお役に立てれば幸いに存じます。

----- ヘッドライン -----

- [【太陽熱：ドイツ】 シーメンス、イスラエルのソレル買収、太陽熱分野に参入](#)
- [【太陽光：ドイツ】 Qセルズ、リストラ費用で第3四半期も赤字、ただし販売量は増加](#)
- [【風力：英国】 セントリカ、洋上ウィンドファームに7億ポンド以上投資](#)
- [【低排出車：欧州】 インフィニオンなど33社、電気自動車で共同研究、航続距離を35%増](#)
- [【低排出車：欧州】 電気自動車の充電インフラ、規格統一を要望、民間50社がEUに](#)
- [【排出規制：EU】 欧州委員会、商用車のCO2排出規制案を発表](#)
- [【排出規制：ポーランドとスペイン】 ポーランド、スペインに排出枠2,500万ユーロ分を売却](#)
- [【政策：ノルウェー】 ノルウェー、2010年予算でCCSに約550億円](#)
- [【政策：EU】 欧州委員会、環境保護で196プロジェクトを採択](#)
- [【政策：世界】 気候変動政策に関する国別投資リスクを評価、ドイツ銀](#)

--- ニュース -----

【太陽熱：ドイツ】 シーメンス、イスラエルのソレル買収、太陽熱分野に参入

ドイツの電機大手シーメンスは10月中旬、イスラエルの太陽熱発電企業ソレル・ソーラー・システムズを買収すると発表した。買収金額は4億1,800万ドル。シーメンスは風力タービンの大手だが、今回の買収により太陽熱発電分野にも参入、再生可能エネルギー事業を強化する。ソレルは太陽熱発電に使う熱回収装置の製造から発電施設の設計、開発までを手がけ、スペインと米国で大型太陽熱発電所を建設した実績がある。独ショット・ソーラーと並び、太陽熱回収装置の2大メーカーの一つ。社員は約400人。

ニュースリリース：<http://w1.siemens.com/press/en/events/corporate/2009-10-pk.php>

【太陽光：ドイツ】 Qセルズ、リストラ費用で第3四半期も赤字、ただし販売量は増加

世界最大の太陽電池メーカーであるドイツのQセルズが11月12日に発表した第3四半期（7～9月期）決算によれば、売上高は1億8,400万ユーロで前期比30%増加した一方、最終損益はリストラ費用がかさみ2億4,800万ユーロの赤字となった。同社は価格下落と需要低迷を受け、今年第2四半期に営業損益ベースで創業以来初めて赤字に転落、社員の20%削減を含む大幅なリストラを実施している。ただし第3四半期の出荷量は前期比87%増加、需要は回復傾向にあるという。

ニュースリリース：http://www.q-cells.com/en/press/press_releases/Q-Cells_SE_Reorganisation_successfully_advanced_during_third_quarter/index.html

【風力：英国】 セントリカ、洋上ウィンドファームに7億ポンド以上投資

英エネルギー大手ブリティッシュ・ガスの親会社であるセントリカは10月28日、新たな洋上ウィンドファームの建設に7億2,500万ポンドを投資すると発表した。英国中東部のリンカーンシャー州沖8キロに建設するリンクス・ウィンドファームで、発電容量は270MW。独シーメンス製の風力タービン75基を設置する。2010年に着工、2012年内の完成を目指す。同プロジェクトの資金調

達の一環として、既存の3ウィンドファームの所有権の50%を、米投資会社に売却した。

ニュースリリース：<http://www.centrica.co.uk/index.asp?pageid=835>

【低排出車：欧州】 インフィニオンなど33社、電気自動車で共同研究、航続距離を35%増

ドイツの半導体大手インフィニオン・テクノロジーズを中心とする欧州のエレクトロニクス・自動車メーカー33社は10月中旬、電気自動車に関する共同研究開発プロジェクト「E3Car」をスタートした。3年以内に電気自動車の航続距離を現在と同じ大きさのバッテリーで35%伸ばすのが目的。3年間の予算4,400万ユーロの半分は33社が出資、残りはドイツ連邦教育研究省など欧州11カ国の公的機関やEUの官民組織が拠出する。参加企業は他に、独ロバート・ボッシュ、ノルウェーのシンク・グローバル、仏バレオなど。

ニュースリリース

ス：<http://www.infineon.com/cms/en/corporate/press/news/releases/2009/INFX200910-002.html>

【低排出車：欧州】 電気自動車の充電インフラ、規格統一を要望、民間50社がEUに

欧州の電力関連会社約50社は10月末、電気自動車の充電インフラに関する規格を早急に統一するよう求めた要望書をまとめ、欧州委員会のアントニオ・タジャール副委員長（運輸政策担当）に提出した。充電インフラに関する統一規格がないことが電気自動車やプラグイン・ハイブリッド車の普及を妨げているとして、コネクタやケーブルといったハードウェアに加え通信ソフトの規格化が必要とした。ISOなどの国際規格が実現するまでは、業界レベルの標準を作成し適用する方針を示している。

ニュースリリース：<http://www.eurelectric.org/EVDeclaration/Highlights.html>

【排出規制：EU】 欧州委員会、商用車のCO2排出規制案を発表

欧州委員会は10月28日、バンなど商用車の二酸化炭素（CO2）排出規制案を公表した。重量2.61トンまでの新車が対象で、2014年から2016年にかけて段階的に適用し、走行1キロ当たりの排出量を175グラムに抑える内容。一部加盟国の反対で、2013年に一斉導入するという従来案から後退した。2020年までに135グラムという長期目標も示した。欧州委員会は乗用車に対するCO2排出規制を既に導入しており、今回の案はそれに続き商用車をカバーする。案は欧州議会と理事会に送付され、審議される。

ニュースリリース：[http://europa.eu/rapid/pressReleasesAction.do?](http://europa.eu/rapid/pressReleasesAction.do?reference=IP/09/1605&format=HTML&aged=0&language=EN&guiLanguage=en)

[reference=IP/09/1605&format=HTML&aged=0&language=EN&guiLanguage=en](http://europa.eu/rapid/pressReleasesAction.do?reference=IP/09/1605&format=HTML&aged=0&language=EN&guiLanguage=en)

【排出規制：ポーランドとスペイン】 ポーランド、スペインに排出枠2,500万ユーロ分を売却

ポーランド政府はスペイン政府に、京都議定書で定められたCO2の排出枠（AAU：初期割当量）の一部を約2,500万ユーロで売却することで両国政府が合意、11月9日に両国首相が発表した。ポーランドは約5億トンのCO2排出余剰枠を持っており、この一部をスペインに売却する。スペインは、現行では京都議定書の目標達成が困難な状況となっており、ポーランドからの排出枠買い取りで目標達成を目指す。

ニュースリリース：<http://www.kprm.gov.pl/english/s.php?id=3845>

【政策：ノルウェー】 ノルウェー、2010年予算でCCSに約550億円

ノルウェー政府は10月中旬に公表した2010年予算案の中で、炭素回収・貯留（CCS）の推進に過去最大の34億ノルウェークローネ（約550億円）を割り当てることを明らかにした。同国南西部のCCS実験施設であるモンスター技術センターで進めている世界最大級のCCSプラントの建設や研究開発に投じる。ノルウェー政府はCCSを同国の気候変動対策の重要な柱の一つと位置づけており、積極的な公的資金の拠出で技術の実証を目指す。将来は海外への技術移転も視野に入れている。

ニュースリリース：[http://www.regjeringen.no/en/dep/oed/press-center/Press-](http://www.regjeringen.no/en/dep/oed/press-center/Press-releases/2009/unprecedented)

[releases/2009/unprecedented-allocation-of-funds-toward.html?id=579459](http://www.regjeringen.no/en/dep/oed/press-center/Press-releases/2009/unprecedented-allocation-of-funds-toward.html?id=579459)

【政策：EU】 欧州委員会、環境保護で196プロジェクトを採択

欧州委員会は10月29日、環境保護プロジェクトに補助金を支出する「LIFE+」制度の今年度分として196件を採択した。自然・生物多様性、環境政策、情報普及の3分野で、合計600以上の申請から選んだ。196件全体の投資額は4億3,100万ユーロで、このうち同制度が2億750万ユーロを補助する。LIFE+は環境保護を資金面で支援するEUの主力政策の一つで、2007～2013年に総

額21億4,300万ユーロを拠出する。

ニュースリリース：<http://europa.eu/rapid/pressReleasesAction.do?reference=IP/09/1646&format=HTML&aged=0&language=EN&guiLanguage=en>

【政策：世界】気候変動政策に関する国別投資リスクを評価、ドイツ銀

ドイツ銀行グループのDBクライメット・チェンジ・アドバイザーズは10月26日、各国政府の気候変動政策の分析に基づいた投資リスク評価をまとめた。それによると、長期的で透明性の高い気候変動政策があり同分野への投資リスクが低い（3段階評価）国は、ドイツ、フランス、日本、中国、オーストラリアなど、中間は米国、英国、ロシア、インド、カナダなどだった。リスクが高いとされたグループには、先進7カ国で唯一イタリアが入った。

ニュースリリース：http://www.dbcca.com/dbcca/EN/investment-research/investment_research_1780.jsp

◆◆「EBS産業レポート」発売中◆◆-----

◎1 「これだけは知っておきたい EU環境規制2009-10年」
94頁 300ポンド（税別）/360ユーロ（税別）/49,350円（税込）

◎2 「EUで注目の環境ビジネス2009-10年」
88頁 300ポンド（税別）/360ユーロ（税別）/49,350円（税込）

◎3 「欧州自動車産業の最新動向2009-10年—始動する電気自動車」
128頁 350ポンド（税別）/420ユーロ（税別）/58,800円（税込）

詳細目次、サンプルページ、お申込みはこちら⇒ <http://www.ebsukltd.com/report/index.htm>

>>複数購入、追加購入の場合は約20%の特別割引！！

1と2の2冊（78,960円 / 500ポンド / 580ユーロ）
1または2と3の2冊（86,520円 / 520ポンド / 620ユーロ）
1、2、3の3冊（126,000円 / 750ポンド / 900ユーロ）

◆◆当ニュースメール配信サービス希望者募集中！◆◆-----

- 当配信サービスは無料です。どなたでもホームページから登録いただけます。
 - 配信頻度は基本的に毎月ですが、都合により不定期になることをあらかじめご了承下さい。
 - 本サービスは弊社の都合により休止することがあります。
- ご登録はこちら⇒ <http://www.ebsukltd.com/newsletter/>

◆◆当サービスのご利用に当たって◆◆-----

★登録内容の変更や配信停止はお手数ですが下記からお願い致します。

<http://www.ebsukltd.com/newsletter/>

★ニュースメールに関するお問い合わせ、その他ご利用に際してのご不明点は下記へご連絡下さい。

news@ebsukltd.com

発信元◆EBS(UK)Ltd.

1 Heathcock Court, 415 Strand, London WC2R 0NT, UNITED KINGDOM

ウェブ：<http://www.ebsukltd.com/> メール：news@ebsukltd.com

Copyright(C) EBS(UK)Ltd. 2009 掲載記事の無断転載を禁じます。